

# 国語科学習指導案

日 時 平成26年10月8日(水) 5校時  
学 級 葛巻町立小屋瀬中学校 3学年  
(男子3名 女子5名 計8名)  
場 所 3年教室  
指導者 講師 山崎 歩

## 1 単元名 文章の形態を選んで書こう

## 2 単元について

### (1) 教材について

本単元は、課題に対する自分の思いや考えなどを適切に表現するのに最もふさわしい形態を選び、文章を書くのがねらいである。文章形態は物語・随筆・手紙・記録・詩歌など様々なものがある。形態の特徴やどのような表現・構成の工夫があるか考えることで、書きたい題材にふさわしい文章の形態を選ぶことが可能となる。文章形態の特徴を改めて確認し、その中から自分の考えを表現する、適切な文章形態について考えさせ、自分の考えをまとめられるようにしたい。

### (2) 生徒について

全国学力・学習状況調査の結果は以下の通りである。

<書くこと>

平均正解率

	本校	岩手県	全国
国語A (主として知識)	95.8%	83.8%	83.4%
国語B (主として活用)	70.8%	42.2%	41.0%

生徒は学習に積極的に取り組み、発言は活発である。全国学力・学習状況調査によると全領域で平均を上回っている。しかし、生徒に行ったアンケートによると、半分の生徒が作文を書くことは苦手だと回答し、文章を書くことに消極的な生徒がいる。「書くこと」＝「作文」という固定観念があること、1つのテーマについて長い文章を書くことに抵抗があることが要因と考えられるので、具体的な文章形態を示すことで苦手意識を緩和し、積極的に学習活動に取り組めるようにしたい。

活動に取りかかるときの個人差が大きいため、活動中でも自由に質問や教え合いができるような学習形態を取り入れ、生徒が分からないところを聞きあいながら理解を深め、学習を進めていく力を養いたい。

### (3) 指導について

4月には修学旅行について個人新聞を作成し、9月には職場体験学習についてレポートを作成した。今回は萌黄祭(文化祭)について、保護者に活動の様子や自分の思いを伝える文章を書く。行事があると、事前の取り組みや当日の様子は伝わるが、行事を通して感じたことや行事を振り返り改めて考えたことは伝わるのが少ない。そのため、大きな行事の1つである萌黄祭について自分の伝えたいことをまとめ、11月に行われる授業参観のときに展示できるようにする。

これまで意見文、批評文、ポスター、手紙、俳句などの文章形態で自分の考えをまとめてきたが、

指定された文章形態の中で観点を決めて表現する形になり、生徒の中でさまざまな文章形態を用いているという実感がない。そこで、教科書に限らず、これまでに読んできた文章や身近にある文章形態を振り返り、多くの形態があることを実感させ、自分が伝えたいことを表現するのにふさわしい文章形態を選ばせる。選択した文章形態によって、これからの活動で集める材料や観点が異なるので、注目する点を明確にして文化祭活動（取材活動）を充実させ、3年間の集大成となる萌黄祭について報告する文章を書けるようにしたい。

ワークシートや話し合い活動を活かしながら、自分が伝えたいことを表現するのに適した文章形態を選択し、自分の考えをまとめられるようにしたい。

### 3 単元の目標

- (1) 目的や意図に応じて文章の形態を選択し、構成を工夫しようとする。[関]
- (2) 課題を決め、自分が伝えたいことを表現するのにふさわしい文章の形態を選択して適切な構成を考えることができる。[書(1)ーア]
- (3) 書いた文章を読み返し、自分の伝えたいことが効果的に伝わるよう構成を見直したり体裁を整えたりすることができる。[書(1)ーウ]
- (4) 見出しや本文等に応じて書体を使い分けたり筆記具を工夫したりして書くことができる。[伝(2)ーア]

### 4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書くこと	言語についての知識・理解・技能
自分の伝えたいことが相手に伝わるような文章の形態を選択し、構成を工夫しようとしている。	文章形態の特徴をふまえて、自分の考えを相手に伝えるのにふさわしい文章の形態を選択し、伝えたいことが相手に伝わるように構成を工夫している。  文章を読み返し、自分の考えが相手に明確に伝わるよう構成を見直したり体裁を整えたりしている。	自分の考えが相手に伝わるように見出しや本文等に応じて書体を使い分けたり筆記具を工夫したりして書いている。

### 5 単元の指導計画 【全7時間】

- (1) 文章形態について振り返り特徴をとらえる 1時間
- (2) 自分の伝えたいことを表現するのにふさわしい文章形態を選択する 1時間（本時）
- (3) 選択した文章形態の構成や内容を考える 1時間
- (4) 資料を集め、整理する 1時間
- (5) 構成を工夫して文章を書く 1時間
- (6) 文章を読み返し、自分の考えが伝わるように修正する 1時間
- (7) 自分の伝えたいことが効果的に伝わる文章を書く 1時間

## 6 本時の指導

### (1) 本時の目標

自分の伝えたいことを表現するのにふさわしい文章形態を選択し、文章形態の特徴をふまえて理由を書くことができる。【書く】

### (2) 研究主題との関わり

本時は文章形態の特徴を捉えながら、課題にふさわしい文章形態を各自で選択させる。これまでの活動で様々な文章形態に触れているが、生徒自身は様々な文章形態に触れているという実感があまりない。最初に文章形態について振り返ることで、文章形態を使い分けていたことを実感させたい。

文章形態を選択する際には、単なる選択ではなく「どんな目的で何を伝えたいか」を明確にし、文章形態の特徴にふれながら、なぜその形態を選択したのか説明できるように指導していきたい。そのために、本校研究の手立てである「考えを整理するワークシートの活用」「考えを補いあう話し合い活動の工夫」を以下のように生かして取り組みたい。

#### ・「考えを整理するワークシートの工夫」

意見交流後に自分の意見を振り返ることのできるワークシートを作成し、考えの変容が分かるようにする。(意見交流を通して自分の考えが深まるようにする。)

#### ・「考えを補い合う話し合い活動の工夫」

##### ①自由に話し合える場の設定

分からないことを自由に聞きあえるようにする。

##### ②グループ編成

3人グループ…基本的なグループ編成

4人グループ…できるだけ多くの人から意見を聞きたいときのグループ編成

### (3) 本時の評価規準

評価規準	具体の評価基準		C：支援を要する 生徒への手立て
	A：十分満足できる	B：概ね満足できる	
自分の伝えたいことを表現するのにふさわしい文章形態を選択し、文章形態の特徴をふまえて理由を書くことができる。 【書くこと】	自分の伝えたいことを表現するのにふさわしく、読む人が興味を引くような文章形態を選択し、文章形態の特徴をふまえて選択した理由を書いている。	自分の伝えたいことを表現するのにふさわしい文章形態を選択し、文章形態の特徴にふれながら理由を書いている。	自分の伝えたいことをまとめ、文章形態の特徴を確認させながら、伝えたいことを表現できる文章形態を挙げ、その中からふさわしい文章構成を選択し、理由を書く。

(4) 学習過程

段階	学習内容・学習活動	活動の支援・留意点	評価(◎) 研究に関わる手立て(☆)
導 入 5分	1 前時の確認と本時の学習について確認	・文章形態の特徴について振り返らせる。	
展 開 40分	<p>2 文章形態の選択① テーマを設定し、文章形態の特徴を考えながら萌黄祭を報告するのに適した文章形態を選択する。</p> <p>3 意見交流 選択した文章形態と伝えたいことについて意見交流をする。</p> <p>4 文章形態の選択② 意見交流をもとに文章形態を決定する。</p>	<p>・3人グループで進める。 3人グループの状態だが各自でテーマを設定し、文章形態を選択させ、理由を書かせる。</p> <p>・4人グループに変更させる。 選択した文章形態と伝えたい思いの妥当性を考えさせる。</p> <p>・引き続き4人グループ。 意見交流をもとに、伝えたいことと選択した文章形態の妥当性を考えながら、文章形態を決定させる。 4人グループの状態だが各自で文章形態を選択させる。</p>	<p>☆自分の考えをまとめる (ワークシートの活用) ☆考えを補い合う学習活動 (手立て①) ◎伝えたいことを表現するのにふさわしい文章形態を選択し、文章形態の特徴についてふれながら理由を書いているか【書くこと】</p> <p>☆考えを補い合う学習活動 (手立て②)</p> <p>☆自分の考えをまとめる (ワークシートの活用) ☆考えを補い合う学習活動 (手立て①) ◎伝えたいことを表現するのにふさわしい文章形態を選択し、文章形態の特徴についてふれながら理由を書いているか【書くこと】</p>
終 末 5分	5 学習の振り返り 6 次時予告	・選択した文章形態の構成について考えさせる。	☆振り返り (ワークシートの活用)

